



大西 功
議員

町長 過去の状況を確認し、
必要かどうか検討したい

大規模な林野火災訓練を 開催してはどうか

林野火災危機期の各 団体との連携

質問 林野火災予防対策協議会における下川消防署、上川北部森林管理署との連携はどうなっているのか。

町長 林野火災予防対策協議会における上川北部森林管理署、下川消防署との連携は、地域防災計画の中で定められている林野火災予防計画において、各機関の役割、連絡系統等を定めている。具体的な対策は、予防活動は、役場内に林野火災予防対策協議会を設置し、上川北部森林管理署、下川消防署と連携し、広報誌や行政情報告知端末

による普及啓発、森林内の巡視、山火事注意旗の掲揚などのほか、各地区森林愛護組合に協力を呼びかけるなど、林野火災を未然に防ぐよう取り組んでいる。消防対策は、林野火災発生時は、役場内に「林野火災対策本部」を設置し、上川北部森林管理署及び下川消防署と情報伝達を密にして、

火災現場へのアクセス林道や現場の火災状況などを的確に把握することにより消火と火災の拡大防止に努めている。

再質問 本年度及び昨年度の北海道における林野火災の発生件数は。

町長 本年度及び昨年度の発生件数は、

本年度の北海道の林野火災の発生件数は6月現在で8件、昨年度は、全道で26件となっている。

再質問 森林整備計画の林野火災の予防方法の項目があり、山火事等の森林被害を未然に防止するため、路網の整備を図りつつ防火池等の整備を推進するとあるが、防火池と呼ばれる溜め池の数と点検等の実施状況を伺いたい。

森林総合産業推進課長 水量が20tから40t程度保持できる条件を基本として、傾斜のない平地で土質が粘土質で、近くに取水でき

る川があり、道路から2m以上離して消防のホースがとどく範囲で設置できるといった条件を基に設置している。設置状況は、21世紀の森サンル地区6基、溪和地区3基、上名寄川向地区1基、合計10基。その他の地区については、適地がないため設置していない。

再質問 その10基に砂防ダムは含まれているか。また、林野火災予防対策協議会で防火池の場所を地図に示しているのか。

森林総合産業推進課長 砂防ダムは含まれていない。防火池の設置箇所は、林野火災予防対策協議会の中では示していないので正確な情報を示せるよう改



今年5月に発生した岩手県の林野火災

善していきたい。

再質問 平成10年にサンル地区で大規模な林野火災訓練を上川北部消防事務組合消防本部主催で実施し、それから19年経っている。町長は、上川北部消防事務組合の副管理者を務めているが、久しく実施していない大規模な林野火災訓練を防火意識向上も含め、森林のまち下川町での開催を要望、要請してはどうか。

町長 過去の状況を確認し、必要かどうか今後検討していきたい。

今年5月に発生した岩手県の林野火災